

# 世界遺産登録に向けて

## 佐渡金銀山遺跡に上相川鉱山町跡を追加 国文化審議会が答申

11月16日（金）に開催された国の文化審議会（宮田亮平会長）は、上相川にある鉱山町跡27ha余りを国史跡佐渡金銀山遺跡に追加指定するよう、文部科学大臣に答申しました。

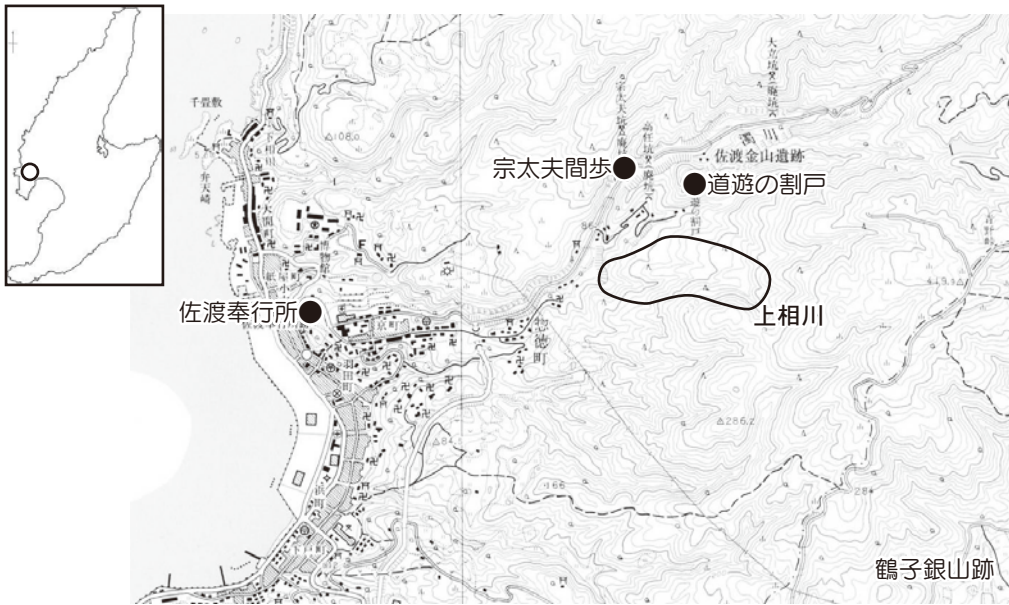
追加指定となる上相川地区は、16世紀末から17世紀初頭に金銀鉱石の採掘が始まった相川金銀山に伴って形成された鉱山集落跡で、「道遊の割戸」に隣接する濁川左岸の標高150から250mの台地や斜面に立地しています。

江戸時代初期、その賑わい振りから「上相川千軒」といわれ、相川金銀山の発展を支えました。

上相川は、明治時代にほぼ無人となりましたが、現在でも斜面を造成した平坦地群や石垣、道路跡などの地割や寺社跡などが良好に残され、県と市が進める世界遺産登録の最も重要な構成資産です。

このことから、「顕著な普遍的価値」をさらに証明するため、調査・研究を進めるとともに、史跡の適切な保存管理を図ることにしています。

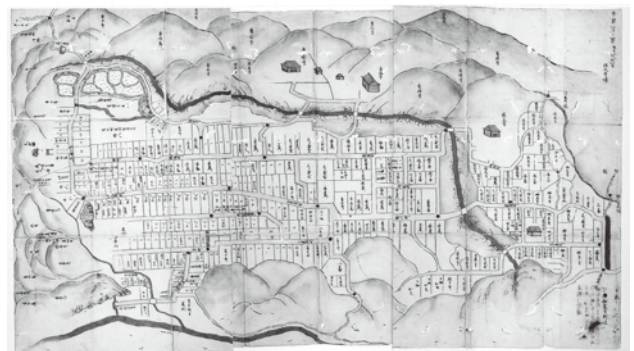
◆市役所世界遺産推進課（金井就業改善センター内） ☎63-51336



上相川鉱山町跡（実線で囲んだ部分） およそ27.2haを追加指定

### 真野中学校男子駅伝部が 第6回 北信越中学校駅伝競走大会で 5位入賞!!

11月23日（金）、長野県松本平広域公園陸上競技場で開催された、「第6回 北信越中学校駅伝競走大会」で、県代表として佐渡から真野中学校と金井中学校が出場し、真野中学校男子駅伝部が5位に入賞しました。



「上相川絵図」 初期鉱山町の区割りがわかる（相川郷土博物館蔵）



弥左衛門町跡の石垣  
（北東から）



相川本町跡のテラス  
（南西から）